

## ココが知りたい! 原子力のクエスチョン

Q 原子力防災センターとは、どのような施設ですか？



A 富士山静岡空港に隣接する原子力防災センターは、オフサイトセンターと環境放射線監視センターが併設する原子力防災の拠点施設です。オフサイトセンターは、浜岡原子力発電所で緊急事態が発生した場合に、国、県、市町等の関係機関が集まって、連携した応急対策を講じるための施設です。約300人が活動可能で、テレビ会議システムを備えた合同対策協議会室などの様々な設備が備わっています。

一方、環境放射線監視センターは、浜岡原子力発電所周辺の環境放射線モニタリング等を行う施設です。モニタリングの結果を、この原子力だよりやホームページ等に公表しています。

原子力防災センターの建物は、福島第一原発事故の教訓を踏まえて、極力窓を少なく、壁を厚くして放射線の透過を防いだり、放射性物質除去フィルター設備で放射性物質の侵入を防いだりするなど、様々な工夫がなされています。

原子力防災センターは一般公開されています。是非、実際にご覧ください。



図1 原子力防災訓練の様子(平成29年2月)  
【静岡県オフサイトセンター】



図2 環境試料の放射能測定設備  
【静岡県環境放射線監視センター】

## 浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中(平成29年4月~6月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、平成29年10月27日現在、3号機、4号機及び5号機については施設定期点検及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局  
静岡県危機管理部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail antai@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html>

静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>

Shizuoka

## 原子力だより No. 174



▲平成29年7月1日から、原子力防災センターの一般公開が開始されました。事前に予約をいただくと、説明員から施設概要について説明を受けながら、施設内を見学いただけます。  
【問い合わせ先：静岡県環境放射線監視センター (TEL 0548-29-1111)  
所在地：牧之原市坂口3520-17 公開時間：9時30分から16時30分まで】

(説明員による説明は、火曜日及び年末年始を除く毎日)

## 平成29年4月から6月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るため行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとにとりまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

平成29年4月~6月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

(詳細は次ページ)

# 平成29年4月～6月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

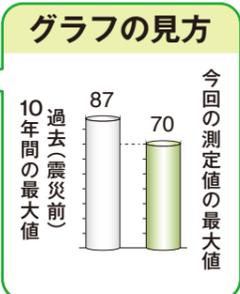
浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。  
東日本大震災に伴う、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

## 空間の放射線の測定

### ▶1時間当たりの放射線量(線量率)

モニタリングステーション(14か所)において空間の放射線が1時間当たりどのくらいかを連続して測定しています。平成29年4月から6月で過去(震災前)10年間の最大値を超えた地点はありませんでした。

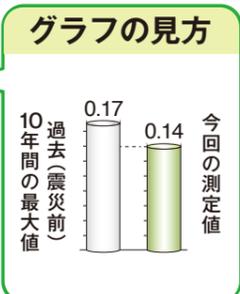
単位：ナノグレイ/時



### ▶3か月間の放射線量(積算線量)

57か所のモニタリングポイントにおいて、空間の放射線が平成29年4月から6月の3か月間(90日換算)でどのくらいになるかを測定しました。

単位：ミリグレイ/90日



### 放射能調査に用いる単位

- グレイ (Gy) …… 放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位
  - シーベルト (Sv) …… 吸収線量を基に人体への影響を考慮して算定した線量の単位
  - ベクレル (Bq) …… 放射能の量を表す単位
- 《参考》 ミリ (m) …… 1/1,000 千分の1  
 マイクロ (μ) …… 1/1,000,000 百万分の1  
 ナノ (n) …… 1/1,000,000,000 10億分の1

## 農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。平成29年4月から6月の間に測定した試料の一部は、過去(震災前)10年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力(株)福島第一原子力発電所の影響によるものと推定しました。

※測定した61試料のうち、12試料が過去(震災前)10年間の最大値を超過しました。

### ▶代表的な農産物などの放射性セシウム(放射能)の測定値の最大値



今回の「空間の放射線の測定」および「農産物などの放射能の測定」の結果から、人工放射性物質による年間被ばく量は、最大限に見積もっても**0.001ミリシーベルト未満/年**と推計されます※。この値は、公衆の年間被ばく線量限度である1ミリシーベルト/年と比べ十分に低い値です。

※推計は、「環境放射線モニタリング指針」平成20年(原子力安全委員会)などから引用  
 《参考》 食品衛生法に基づく食品の放射性物質基準値…一般食品[100ベクレル/kg]・原乳[50ベクレル/kg]・飲料水[原乳10ベクレル/l]

### 《参考》日常生活と放射線

私たちは、日常生活の身近なところで自然や人工のさまざまな放射線を受けて暮らしています。これらの放射線の量に比べて、今回推計した年間被ばく量0.001ミリシーベルト未満/年は、とても低い量であるとわかります。

人工放射線の被ばくの例

胃のX線検査 約3.0mSv

自然放射線の日本平均 **約2.1**ミリシーベルト/年

宇宙から 約0.3mSv

大地から 約0.33mSv

ラドン等の吸収 約0.48mSv

食物から 約0.99mSv